

## 工事タイムス

### — 橋 梁 —

**壯觀を極むる本年の復興橋梁工事** 復興局が執行する橋梁工事の数は東京だけで百五十橋横濱では廿六橋あるが、これは震災で焼失又は破損したのに一時的假橋を造つて間に合せて居たのを造り直す許りでなく、新しく出来る橋も含まれて居る、假令は吾妻橋と鹿橋との間にかゝる駒形橋の如き新しく架設工事を進めて居るが、既に出来上つたものは東京が神田橋を筆頭に七橋である、目下工事中のものは永代橋以下三十九橋で、横濱では十二橋が架設されて居る、遅くも本年の四五月頃迄には併せて五十一橋の中三十橋前後が竣成される見込で工事を督勵して居るが、同時に設計其他起工の準備中にあるものが鹿橋を始め東京市内では二十四橋、横濱では十四橋ある、これも本年三月中に設計を終つて更に工事にかゝるのであるからこゝ半年も経ると市内の橋は到る所面目を改めるであらう、更に市として執り行ふ橋梁は東京が三百二十三橋、横濱が八十九橋であり、その中復舊の部分は殆ど完了し、改築する橋で竣工したものは八橋、工事中のものは十三橋準備あるひは設計中が十五橋、横濱市は出来上つたものと工事中とも合し十六橋で是又本年早々には大半が竣成する事になる、橋で特種設計のものはお茶ノ水にかゝる聖橋で、日本橋に雅趣を添へたやうなものである。又一般の住民から便宜上一日も早く出来るやうにと待たれて居るのが駒形橋だが之が竣成すれば本所番場町と淺草駒形岸一帯の住民が何の位利益を得るか解らないと今から翹望され、同時にこれら竣工後は隅田の五大橋でなくて六大橋になる譯である

### — 建 築 —

**迅速なる假議院の建築** 昨年九月十八日焼失し

た假議院の再築は大藏省の矢橋、大熊、小島技師等の設計で、大倉、大林、清水、松村、安藤の各社が約百八十萬圓で一切を請負ひ、焼跡整理を數日で片付け直に工事に着手し總建坪約七千坪を僅々六十日程で竣工するに到つたが、工事進捗の迅速なるには現場監督の小林勲任技師も驚いてゐるほどで、日本建築史上のレコードである、尙同建築の規模は大體焼失前と同一であるが、議場の設計には目下起工中の本建築の試験的試みが施され、面目を一新した、即ち議長席大臣席が低くなり議員席の勾配が緩和され、通路の階段を無くし、眞紅の議席は空色になり大臣席に在つた太い柱は撤せられた、尙ほ大臣席の上に在つた婦人傍聴席は取り除かれて議長の眞向ふに移さるべく、新聞記者席は特に注意して新設計が試みられてゐる。

**大銀座建設の案** 丸ノ内の外濠と三十間堀の河とに圍はれてゐる銀座界を全部一まとめにする大銀座街を現出する爲めに町の有志は昨年十二月三日、井上準之助、竹内警視廳建築課長、木田保造、佐野利器博士等を招待して種々意見を求めた。其結果を綜合すれば、復興局の案たる大防火地帯とするには鐵筋コンクリート八階建の建築を銀座一帯の住民が各個人としてなすとしたならば、各個人の負擔は坪一千圓の多額に上り、然も狹隘な建坪の中に八階建の如き高層な建物は到底建築し得べからざる問題なので畢竟共同建築による外はなく、銀座現在の土地所有者はこの土地を地價に見積つて、恰も會社の株券をもつ如く地價に相當する株券の所有者となり代ふるに其土地を大銀座なる會社式なものとして、この土地に七三五坪の大建築を十數個建築し從來の銀座住人はこの建築の中に隨意居住する事になるわけだが、かくの如き共同建築にすれば坪あたり五百

.....  
**工 事 タ イ ム ス**  
 .....

圓で單獨工事費の半であり、かつまたその資金も大銀座組合の如き名目で債券を發行しその總工事費一億五千八百萬圓を得るならば大銀座建設もさして難事ではなからうと云ふので今後井上準之助氏その他を顧問としてその考究を續ける筈である。

**建築工事の地盤陥没** 日比谷公園の東南隅に起工なしたる東京市公會堂の工事は昨年九月より地質調査後直に基礎工事に着手し、先づ全體に地下二十尺迄掘下げて三十尺の杭を二本繼ぎとして打込工事中の處十二月初旬根掘したる土砂約一千立方坪の盛土が突然陥没して杭打工事中の個所が反對に隆起したる爲め、世の注目をひきつゝあるが、之に對する岸博士の意見なるもの左の如し。

一口にいへば幽霊地盤とでもいふて山陰方面には時々あつたことだが今度のやうなことは未曾有の出來事だ、杭とか矢板が眞直ぐに一緒に持上つてゐるところを見ると盛土が、ずつたものとは言へない、自分の意見としては掘下げ工事によつて地中の浸透水が減じたため自然水壓が變化減少し周圍と絶縁したかたちに陥つたところへ他方に急に重量が加つたので恰も砂の上へ大きな石を置いたと同様忽ちめり込んだもので同時に壓力が移動したのである。云々

**議院本館鐵骨組立工事** 本館建築工事は現代に於ける模範的の工事として一般技術家の注目の的となりつゝあるが、就中鐵骨組立工事には特に留意され鐵材は八幡製鐵所の製品を用ひ組立は月島機械株式會社其他知名の工場にて請負が大正十二年二月第一回工事より第三、第五、第六、回組立工事は同社にて完成せる由。

——水力電氣工事——

**信越電力株式會社信濃川發電計劃** は東洋に冠たるのみならず世界的有数のものにして、其使用水量の大なる點は北米カナダに稍近き例あるも、水車發電機の加きは世界的記録をなすものである。目下工事準備中なるを以て遠からず此の偉大なる工事の壯觀に接し得る事と思はれる。

尙ほ本工事の如きは實に世界的の大工事であるから、工事施工に當りては、其設備、材料、施工技術等何れも莫大なる準備を要するものであるが、信越電力株式會社技術部は既に數個所の難工事を竣功して豊富なる經驗を有するものであるから、本工事に於て我國に於ける水力工事の一新紀元を期待せられつゝある。

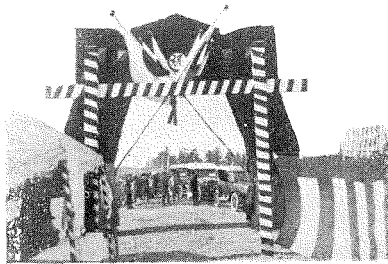
**庄川水系の水電會社獨立起工** 富山縣庄川の大同、久原、淺野三水利權は一時これを合併して事業に着手せんとの計畫もあつたが、最近大同電力が獨立して工事を進める事に決定したので久原續業でもいよいよ獨力を以て飯島發電所四萬五千キロ及びその上流に五萬キロの發電所を建設する事に決した、飯島を第一期工事とし他を第二期工事として共に五ヶ年繼續事業で完成する見込であるが、既に地ならし入道工事及び用地買収等も済んでをるよして、送電の上は共に關西地方に供給する計畫である、しかしてその建設費は一キロ當り六百圓以上の豫算である。

**關東水力電氣の工事着手** 久しく問題となりし利根川水系に於ける關東水力電氣株式會社の宮田發電所工事は愈々本工事に着手する事となり、新に入社したる技術部長鶴田勝三氏の手により目下工事實施の諸設備を急ぎつゝあり。(因に之が爲め鶴田氏は非常に多忙を極めつゝあるも工事畫報社長としては從來と變りなく益々工事研究獎勵に盡さるゝ由。)

——鐵 道——

**九州一の大隧道請負工事着手** 鐵道省熊本建設事務所大分派出所管内豊肥線波野坂梨間の坂の上隧道は七千四百九十一尺あり九州本線第一の延長ある隧道で昨年十月一日より鐵道工業會社の手にて工事に着手したるが同隧道工事は宮地方面の片口より掘鑿を行ひ既に十五六尺を穿ち居れる所工事用機械の動力を得る爲め昨今火力發電所の工事中である。

**井筒の自然沈下装置** 昨年末より工事に着手したる鐵道省第一改良事務所の荒川架橋工事は總延長



渡良瀬川改修工事竣功式

## 工 事 タ イ ム ス

二千二百六十五尺の新鐵橋の橋脚に曾て世界に例のない新工法たる自然沈下装置を用ふる事となつた、此の新發明の工事様式は所長大河戸博士の發明であるが今までは橋脚を作るため井筒を沈めるのに井筒の上にレールを載せて沈め、沈んでからレールをとつてその井筒の上に繼足しそれが乾くのを待つて、又レールをのせて沈める、次に又レールをとつてその上に繼足すといつた手のこんだ仕事をやつてゐたが、この發明では井筒を沈めながら繼足して行ける様に井筒の内部におもりの力が作用する装置になつてゐるこの發明は目下專賣特許出願中である由。

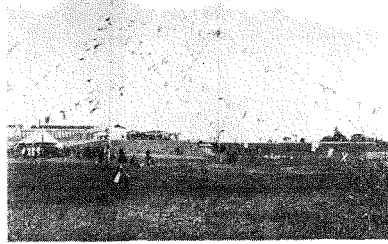
**大阪市の高速度地下鐵道案の其後** 大阪市の高速度地下鐵道の計畫内容に關しては昨年末鐵道協會及び土木學會聯合にて詳細なるパンフットを發行したるが、其工事方針は十七年迄から起工することとなり、市では十五、六の兩年度に一切の調査をすまずはすであるが、調査の大體方針は、地下式による各路線の地質調査と測量を主なものとするが、一方では地下埋設物も詳細に調査するはずで、なほ市では現在電氣局の高速度鐵道課を擴張して清水工務部長、河野技師のほか多數の増員を行ふはずである。これらの事について清水氏は次のやうに語りし由。

高速電車についての火體のプランはできてゐるがそれをそのまま實際に當てはめることは出来ない。今度は四十萬圓の調査費を計上して各路線にあたる部分だけを實地について入念に調査するのであるがそのうち最も厄介なのは地下埋設物の調査でこれも普通はいづれも路下式の浅いものであるが下水鐵管などの入りまじつた部分になると、可なり深く掘下げられてゐるものもあるから、埋設本數によつて掘下げの[深さ]を加減するよりほかない各地下式の掘下げは大體において、路面からトンネルまでの土冠を十尺としたい。これは[爆彈威力の届かない]といふのを程度としたものである。また河底は土佐堀、堂島の兩川は標準水位の規定で底下五尺と見てなりすべてこれを基準としてそれぞれその深度を定めて行きたい。電車は雜沓時に四臺連絡とするがその他

は平均三臺位とする。車輛は、鐵道省の東京山の幹線には架線式のものを用ゐてゐるが、今度は架線のない百廿人乗の第三軌條式を用ゐる考へである工事費は高架一マイル二百萬圓、地下三百萬圓から三百五十萬圓見當と見てゐる。これに關する財政計畫は最初の豫定の延長四十五マイルが廿三マイルに削除されて總豫算の上に千五百萬圓から二千萬圓の節減が出来ることになつたので、これも改めて考究を要することゝなつた。

## ——河川港灣——

**渡良瀬川大治水工事竣功** 埼玉、茨城、栃木、群馬の四縣に流域を有する渡良瀬川の改修工事竣功式は昨年十一月八日栃木縣田島地先渡良瀬川の堤防に於て若槻内相、次田内務省土木局長、關係各縣知事其他三百餘名出席の上盛大に舉行された、同改修工事は明治四十三年度から總工費一千四百四十萬圓を以て十二ヶ年繼續で工事を施工し來つたもので此の改修工事に依つて四縣十六郡四萬五千八百六十七町歩の水害を永久に救済し得る全國に稀な大工事である。



渡良瀬川改修工事竣功式

**銚子築港工事起工** 工事費一千万圓を要する千葉縣銚子漁港は昨年十一月二十一日同町にて

早速農林大臣參列起工式を舉行せり。

## ——道 路——

**道路愛護の特志家** 神奈川縣の補助縣道なる横濱都田線中の城郷村三枚橋地内は昨年九月の大暴雨にて該縣道約七百間に亘つて缺潰し降雨毎に泥濘瘞を没し車馬の往來は勿論小學兒童の通學上の困難一方ならぬ所から再三縣當局に之を修築方を請願したが運動効をなさず、爲めに大正九年縣道編入以來此道路に心血を注いで居る、同村三枚橋區長鈴木福松氏は放任を肯ぜず同志を叫出して一千餘圓を投じて十月十三日から修理に着手廿五日坦々たる砂利道に竣工一般交通者から感激的となつて居るとの事である。